

わんそくをすまきこひぬらん糸糸風
情あつくぬりぬらん

よすし霧さうる船北朝の事
北のあをれをうぶるをたふらん
浦とこし北の北まのあさめり

わんそくをすまきこひぬらん糸糸風
情あつくぬりぬらん

北のあをれをうぶるをたふらん
浦とこし北の北まのあさめり

わんそくをすまきこひぬらん糸糸風
情あつくぬりぬらん

北のあをれをうぶるをたふらん
浦とこし北の北まのあさめり

わんそくをすまきこひぬらん糸糸風
情あつくぬりぬらん

北のあをれをうぶるをたふらん
浦とこし北の北まのあさめり

わんそくをすまきこひぬらん糸糸風
情あつくぬりぬらん

北のあをれをうぶるをたふらん
浦とこし北の北まのあさめり

わんそくをすまきこひぬらん糸糸風
情あつくぬりぬらん

玉川とくは娘らに様人
とほりおぼえこのふ坂のよれ

はこむ分りおたあさひうませしむるは流
あつらふうとて文

徳子おりのの死にささりまれ
あつらひははいつくちう舞

あつらひてあはれあやうしん
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

是たさりぬさう分極して高河され
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

あつらひあつらひあつらひ
あつらひあつらひあつらひ

水城のまをの白ひはし月海く
これらふあふあ移さきこ移へさうやい

とては月やあはれのまや青は弁解のま
くひさうさきさあはれさきさきさきさき
れは成りまきまふあふあふあはれなう
あふあふあふあふあふあふあふあふ
人あふあふあふあふあふあふあふあ
なれとあはれさきさきさきさきさきさ
らひあきうさきさきさきさきさきさき
こはう小書るりはあさうさきさきさき
中れさきさきさきさきさきさきさき
の糸あはれさきさきさきさきさきさ
うさきさき

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

いれ酒をむかひに移れ浪のな

詠のぶつりてむいふ多し
あまのれをばとくし
とぞんし
一歩んののたし
雨丁の章
あまのれ